

ベトナム北部山岳地域に暮らす 少数民族の子どもたちのための包括的な栄養改善事業

1. 事業概要

対象国・地域	ベトナム社会主義共和国 イエンバイ省 (Tram Tau 郡の 4 コミューン、Mu Cang Chai 郡の 6 コミューン) ソンラ省 (Mai Son 郡の 5 コミューン、Moc Chau 郡の 5 コミューン)
全体の事業期間	2017 年 1 月 1 日～2020 年 12 月 31 日
受益者	5 歳未満の子ども 10,607 人、妊産婦 774 人、生殖年齢の女性 22,228 人
事業目的	子どもの栄養摂取習慣の改善、妊産婦と乳幼児の栄養源の多様化、母子の栄養ケアによる 5 歳未満の子どもの栄養状態の改善
ご支援いただく期間	2018 年 11 月 1 日から 2019 年 10 月 31 日

2. 背景

ベトナムでは 1990 年代初頭から著しい経済成長を遂げ、貧困率の大幅な削減を実現し、5 歳未満の栄養不良の子どもたちの数も大幅に減少しています。

一方で、都市部と農村部の経済格差は拡大し、発展から取り残された農村部に暮らす少数民族の人々の生活は、以前に比べてさらに厳しくなっています。北部山岳地域には、ベトナムにおける全少数民族人口の半数が居住し、人口の約 66% が貧困状態にあり、そのうち 70% は最貧困層に属しています。近年、この割合は増加傾向にあり、貧困が深刻化しています。

ベトナムの包括的な発展を目指すにあたり、全人口の 15% を占めるこのような少数民族の人々への特別な配慮は非常に重要な課題となっています。

本事業は、タイ族、ザオ族、モン族といった少数民族の人々が多く暮らすベトナム北西部の山岳部に位置するイエンバイ省の 2 郡、およびソンラ省の 2 郡から選定された 20 コミューン¹ における合計 200 村（人口に占める少数民族の割合は 97%）にて、世界銀行からの支援も受けながら実施します。2017 年 7 月に事業が実施した調査によると、国全体の低



¹ 「コミュニティ」は日本でいう市や町に該当します。

体重児率は 24.6%であるのに対し、事業対象地であるイエンバイ省 2 郡は 41.7%、ソクラ省 2 郡は 32.9%でした。幼少期の栄養不良は大人になってからの理解力・認知力に影響を及ぼすと言われており、国の持続的な経済成長のためにも、子どもの栄養不良は解決しなければならない最優先課題です。



モン族の人々が暮らす集落（イエンバイ省
Tram Tau 郡、2017 年 6 月）



身体測定を受ける少数民族の子ども（イエンバイ省 Mu Cang Chai 郡、2017 年 6 月）

3. 主な活動内容：

本年度は 2 省 4 郡 20 コミュニティ 210 村にて主に以下の活動を実施します。

1. 食糧および栄養源の確保（家庭菜園、家畜支援、稲作農法改善等）

- 対象世帯への低コスト農法（(a) 栄養菜園、(b) 有機たい肥づくり、(c) 鶏の飼育法改善、(d) コメ高収量システム（SRI²）の普及）[昨年度より継続]
- 低コスト農法を採用した世帯の実施状況のモニタリングと指導 [昨年度より継続]
- 農家間で低コスト農法を採用している農家への見学会を開催し、他農家へ低コスト農法を普及

2. コミュニティに根差した母子栄養ケアおよびその実践

「最初の 1000 日（妊娠～生まれた子どもが 2 歳になるまで）」に焦点を当てた母子の栄養ケアに関する研修および行動変容を促すための研修マニュアルの作成

- 行政スタッフ、医療スタッフ、保健ボランティアなどを対象とし、上記の研修を実施
- 研修を受けたスタッフによる村での栄養ケアサービス（妊婦健診、乳幼児健診での栄養指導など）の実施

² System of Rice Intensification の略。幼苗を用い、苗を 1 本で植える事により収穫量を増やす稲作方法。

4. 活動写真：



有機たい肥の作り方（指導者育成研修—座学）
（ソラ省 Mai Son 郡、2018 年 4 月）



有機たい肥の作り方（指導者育成研修—実地）
（イエンバイ省 Tram Tau 郡、2018 年 4 月）



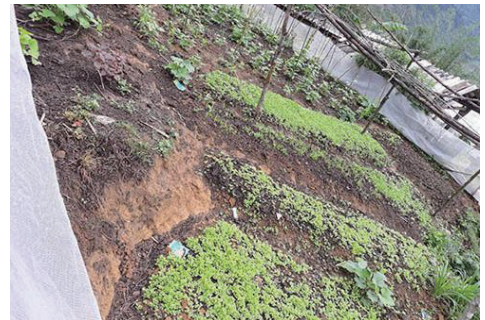
コメ高収量システム（SRI）の研修（実地）
（イエンバイ省 Tram Tau 郡、2018 年 4 月）



鶏の飼育法改善に参加する世帯へひよこの提供
（イエンバイ省 Tram Tau 郡、2018 年 4 月）



鶏の飼育法改善を適用した世帯の鶏小屋
（イエンバイ省 Tram Tau 郡、2018 年 5 月）



栄養菜園を始めた世帯の菜園
（イエンバイ省 Tram Tau 郡、2018 年 5 月）